



■発行／公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団

■愛媛県武道館

開館時間／午前9:00～午後9:00

休館日／毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日）
年未年始

住所／愛媛県松山市市坪西町551番地

TEL／089-965-3111

FAX／089-965-3388

ホームページ／<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

予約システム／https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

第四十八号

TOPIX

- 1 令和2年の取り組みと課題(銃剣道)
- 2 柔道の歴史とその理念(柔道)
- 3 オーストリア派遣日本武道代表团に参加して(弓道)
- 4 令和2年度第3期
スポーツ・レクリエーション教室の参加者募集!!

コロナに負けるな！がんばろう日本！がんばろう愛媛！

銃

剣

道

Jukendo

令和2年の取り組みと課題

執筆／愛媛県銃剣道連盟 事務局次長 中川 颯人

令和の時代も2年目を迎えることとなりました。愛媛県銃剣道連盟では毎週土曜日、9時30分より陸上自衛隊松山駐屯地にて活動を行っています。3月14日は全日本銃剣道連盟の範士八段を招き、小中学生対象の銃剣道教室を開催しました。準備体操を最初に行った後、小学生高学年以上のグループとそれ以下のグループに分かれて指導者たちの号令のもと、木銃を両手に足捌きや突き動作を繰り返しました。小学生低学年以下の子ども達は、はじめは戸惑っている子達もいましたが、やはり子ども達は慣れるのが早く、すぐに順応できているように感じられました。慣れてきたら用具を身につけた成年選手を相手に力一杯突いていきます。ある程度の経験がある高学年の子ども達は慣れた動作で凛々しさを感じさせる突きを繰り返していました。一時間半程度の練習でしたが、子ども達も大きな声をあげて、楽しそうに取り組んでいました。



練習後は東温高校銃剣道部勧誘用のDVDを鑑賞し、選手達の迫力ある突きに歓声を上げていました。今回の活動に参加してくれた子ども達がいずれ高校生になっても銃剣道を続け、国民体育大会や全国高校生銃剣道大会などで活躍してくれることを願ってやみません。

現在も愛媛県内の高校では、東温高等学校に銃剣道部があります。しかし、現在は部員がゼロの状態であり、活動ができていません。また、本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主要な大会が中止となりましたので、仮に部員が増えても活動は難しいという状況に立たされています。

今年度はなんとか高校生の選手を増やすことが課題となっています。今年は全国大会や国民体育大会の開催が危ぶまれています。来年、又は再来年度の全国大会で成果を上げるためになんとか今年の新入生を入部させたいところです。



柔道の歴史とその理念

執筆／（一財）愛媛県柔道協会 理事長 中村 直紀

柔

道

Judo

柔道の創始者、それは嘉納治五郎師範である。嘉納師範は兵庫県の出身、11歳で上京後、生まれつき体が弱かったこともあり、日本橋にある天神真楊流の道場へ通い始める。その後、他流派である起倒流を修業し、また、その他の流派についても伝書などを読破し研究・比較を重ねた。1882年(明治15年)、学習院の教官をしながら古来の日本柔術の長所を採り入れ、さらに創意工夫し、東京下北稲荷町の永昌寺書院に12畳の道場を開設する。これが「講道館」の起源であり、正式名称を「日本傳講道館柔道(にほんでんこうどうかんじゅうどう)」その後、世界各国に広まった「柔道」の始まりである。

この柔道を一躍有名にしたのは、1886年(明治19年)に行われた「警視庁武術大会」である。この武術大会において、当時の警視庁武術指南役を西郷四郎が「山嵐」の大技で破り、講道館柔道の勝利に終わる。翌年から数年間にわたり同大会は開催されたが、いずれも警視庁古武術と講道館柔道との対決となった。結果はすべて講道館柔道の勝利に終わり、当時の警視総監も講道館柔道の採用と指導員の入れかえをせざるを得なくなり、また、学習院や東京大学・海軍兵学校などで採用されるなど、普及が広がっていく。その後、門下生の増加などから道場を拡張し、1933年(昭和8年)、水道橋に大道場が建設されることとなった。現在、東京都文京区春日に世界一の大道場と国際柔道センターが、1984年(昭和59年)に完成し、柔道の総本山となっている。



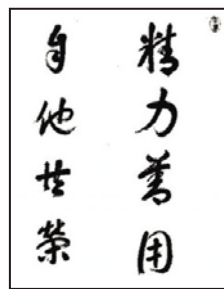
◀ 嘉納師範 ※講道館HPより



◀ 現在の講道館 ※講道館HPより

柔道の基本理念として、「人間形成の道であり、己を完成し社会に貢献する。」とある。すなわち、人を作る道であるとされている。この中で「人間形成の道」として、柔道には「精力善用・自他共栄」という精神がある。精力善用とは、「目的を達成するために精神の力と身体を最も有効に働かす。」ということであり、柔道だけではなく、人間の日常生活や社会生活全般に適用される普遍的な原理である。また、自他共栄とは、「自己の栄えのみを目的とせず、助け合い、譲り合い、融和協調をして共に栄えることを目指す。」ということである。柔道の技は、相手との関係でなされるものであり、相手は自分の技を高めてくれる存在である。礼法の意義もここにあり、互いに助け合い、感謝し、敬意を払うべきものであるという意味である。

さらに、「己を完成し社会に貢献する。」とは、前述した「精力善用・自他共栄」の精神を身につけることにより、人としての生き方、人間性、人格を完成させるということである。また、自分のことを考えると同時に常に他人のこと、社会国家のことを考えて、自分の便宜のために他人に迷惑をかけないことはもちろん、自分が利益を得る場合、同時に他人にも利益が得られるように考えることを心掛ける。それにより、



◀ 師範書 ※講道館HPより

人生の目的を達成するということである。人の真価は、その人が一生涯においてどれだけ社会に貢献できたかで決まる。そう

いった貢献をするためには、己を完成させた者でしかできないという理論である。来年に延期となった東京オリンピックにおいて柔道競技には、金メダルの期待が高まる場所である。また、オリンピックが延期になった原因でもある、「新型コロナウイルス」の感染拡大防止のため、スポーツを含めたあらゆるイベントが中止または延期となっている昨今、また、SNS等による誹謗中傷や指導者による暴力など様々なことが社会問題となっている中、スポーツ競技としての「JUDO」だけでなく、柔道の歴史や精神について見つめ直すことも重要である。特に、この難局を乗り越えるために、柔道競技者以外の皆様にも「自他共栄」の精神を心掛けていただきたい。

オーストリア派遣日本武道代表团に参加して

執筆／新田高等学校 教諭 森本 浩之

令和元年11月に「日本・オーストリア友好150周年事業」の一環として日本武道館主催の武道代表团派遣事業に参加しました。

1日目は、ウィーン日本人国際学校において交流演武会を行いました。開会式終了後、弓道の演武から始まり、巻藁射礼を行いました。前年度の全日本選手権の優勝者が射手を務め、私は第二介添を務めました。澄んだ弦音に会場から拍手が鳴り響き、演武会終了後のワークショップでは、弓具に興味津々の子どもの声が明るく元気でたいへん盛り上がりました。



▲結団式の記念写真

2日目は、国立スポーツセンターで行われた武道セミナーに参加しました。『日本の武道』という演題での講演や各種種目の演武が行われ、演武会後のワークショップでは、体験希望者が数多く集まりました。英語やドイツ語に困惑しながらサポートをし、多くの体験者が矢を射るという初めての体験に興奮していました。



▲ワークショップの様子

3日目は、現地の弓道連盟の方々とは5人立の弓道場で交流稽古を行いました。代表团5名による持的射礼を行った後、現地の方による一手行射が行われ、射技指導を行いました。現地の方の上達しようとする熱意がひしひしと伝わる良い交流稽古でした。最後に、交流稽古の締めくくりとして一つの射礼を誠心誠意行いました。

昼食後、演武大会の会場となるエルステバンクアリーナに移動し、現地の弓道連盟の方の協力を得て仮設安土の設営を無事行うことができました。



▲演武大会の初矢

4日目は、いよいよメインイベントの演武大会の日となり、約2000人の観客が会場を埋め尽くしました。開会式では、両国の国歌斉唱や挨拶等が行われました。演武のはじめが弓道で、私は5人の持的射礼の1番手だったので、大変緊張しましたが、無事初矢が的中し、静寂に包まれた会場から大きな拍手が起こりました。他の演武者の演武も素晴らしく、最後の矢が的を射抜くと溢れんばかりの拍手と歓声が沸き起こったことを今でも覚えています。演武終了後のワークショップでは、5名の演武者がそれぞれの前で体験指導を行いました。長蛇の列ができ、大盛況のままに制限時間が来て打ち切りとなりました。



▲演武大会後のワークショップ

最後に、今回の派遣事業の一員として参加させていただき、海外の方の武道に対する関心の高さを感じるとともに、日本代表として演武する緊張を楽しむことができました。日本武道の国際交流に関わらせていただいたことに深く感謝しています。この体験を日頃指導している生徒に還元するだけでなく、様々な場面で生かし、弓道の発展に貢献したいと思います。



参加者募集!!

令和2年度 第3期

スポーツ・レクリエーション教室

愛媛県武道館では、第3期スポーツ・レクリエーション教室の参加者を募集します。

スポーツをはじめてみようと思う方、健康のために体を動かして汗をかきたいという方、気軽にお申し込みください。初心者でも楽しめるように指導員がわかりやすくご指導いたします。お問い合わせ、お申し込みは愛媛県武道館 事業課(電話 089-965-3111)までお願いします。

教室名	開催曜日	開催回数	開催期間・時間帯	参加料
ストレッチ 体操	火	10	10月6日~12月22日 10:00~11:30	毎回、参加した際に500円をお支払いいただきます。
パンチ&キック・エクササイズ	火	9	10月6日~12月22日 19:30~21:00	
ハワイアンフラ	水	10	10月7日~12月16日 10:00~11:00	
卓球	水	10	10月21日~12月23日 13:30~15:30	
太極拳	水	11	10月7日~12月23日 13:00~14:30	
リフレッシュ ヨガ	水	9	10月7日~12月23日 19:30~21:00	
えひめ愛ヨーガ	木	8	10月8日~12月17日 10:00~11:30	
ダンベル体操&バランスボール	木	6	10月8日~12月17日 13:30~15:00	
バドミントン	木	8	10月8日~12月24日 19:00~21:00	
レクリエーションバレーボール	金	8	10月9日~12月25日 10:00~12:00	

スポーツ・レクリエーション教室の様子



お問い合わせ(申込先)

〒790-0948 愛媛県松山市市坪西町 551 番地 愛媛県武道館 事業課

☐TEL : 089-965-3111 ☐ホームページ : www.ehimekenbudoukan.or.jp
☐FAX : 089-965-3388 ☐メールアドレス : jigyo@ehimekenbudoukan.or.jp

愛媛県武道館
ホームページ

